

タイトル	荻窪そらひろば —街を広場で結び、もっと人を呼ぶ街へ—
提案者 (所属・代表者)	塚田綾乃、外松浩一 (ヒューリック株式会社アセットソリューション部)
整理番号	22
賞	銀賞

【注意事項】

本資料は、平成 24 年に杉並区が開催した「これからの荻窪駅周辺まちづくりを考えるアイデアコンペ（以下、アイデアコンペ）」において応募者から提案された一作品です。今後の荻窪におけるまちづくりの方向性を決定するものではありません。

アイデアコンペの詳細については、以下のページをご覧ください。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s094/6497.html>

「街を廣場で結び、もっと人を呼ぶ街」へ

杉並区の都市活性化拠点として位置付けられている荻窪。現状では市街地の南北分断により、街に一体感がなく個性が埋没し、「中途半端で特徴のない街」になっています。荻窪が真に活性化拠点として輝くためには、荻窪が抱える課題を解決し、住民が住みやすく、来街者や新たな住民、出店者を呼び込める街になるべきと考えます。そこで私たちは、以下の5つの目標を実現する荻窪「そらひろば」を提案します。

5つの目標

1 だれもが歩いて自由に駅南北を往来できる街

南北分断の解消

- 宙に浮かぶ駅「そらひろば」**
駅上に歩行者専用の約35,000㎡の大型人工地盤の広場を設置。歩行者が安全に駅南北を往来できます。
- わずらわしさをゼロへ「バリアフリー化」**
駅の南北東西にスロープやエレベーターを整備。車椅子やベビーカーでも安心して回遊できます。

2 「にぎわい」と「くつろぎ」にあふれる街

人が集える大きな広場の創出

- 荻窪の賑わい玄関「おぎくぼ駅広場」**
駅上に約6,000㎡の広場をつくり、お祭りやイベントを開催。いつも人が集まるスペースです。
- 日本初の駅上フォレスト「おぎくぼの森」「ひかり池」**
約12,000㎡の森と、下層階のトツプライトとなる池をつくります。CO₂削減やヒートアイランド現象を緩和、地域の生態系保全、生物多様性向上にも寄与します。
- 新しい形のアーケード商店街「そらひろば商店街」**
1、2階、駅上に新しい商店街をつくり、分断している商圈をつなぎます。個性的なお店を街内外から誘致します。

3 住まう人・集う人を守る、防災拠点がある街

駅に避難場所を確保

- 災害時の大規模シェルター「そらひろば」**
おぎくぼ駅広場や1階などを災害時の一時避難用シェルターとし、駅利用者や安心して帰宅するまで一時滞在することが出来ます。
- 備えあれば憂いなし「みんなの倉庫」**
防災倉庫を駅地下階に設置。周辺住民や帰宅困難者のために必要な物資を備蓄し、ターミナル駅としての役割を果たします。
- 延焼や熱を遮断「おぎくぼの森」**
森林の木々が災害時に延焼・熱遮断帯となって、人々の命を守ります。

4 全ての交通が円滑に結ばれる街

駅へのアクセス・乗り換えやすさの向上

- 駅改札からそのまま連続「改札直結バスターミナル」**
南北に別れていたバスターミナルを駅改札階に集約。駅改札とは雨に濡れずフラットに往来できます。
- スムーズな乗り降りを実現「街続きカーポート」**
屋根つきの車寄せを駅の南北に設置。快適な乗降を実現します。
- 違法駐輪ゼロの街へ「アンダーサイクルロード&パーク」**
地下で南北をつなぐ自転車専用道を設け回遊性向上、自転車事故削減。駐輪場を駅地下に設け違法駐輪ゼロを目指します。

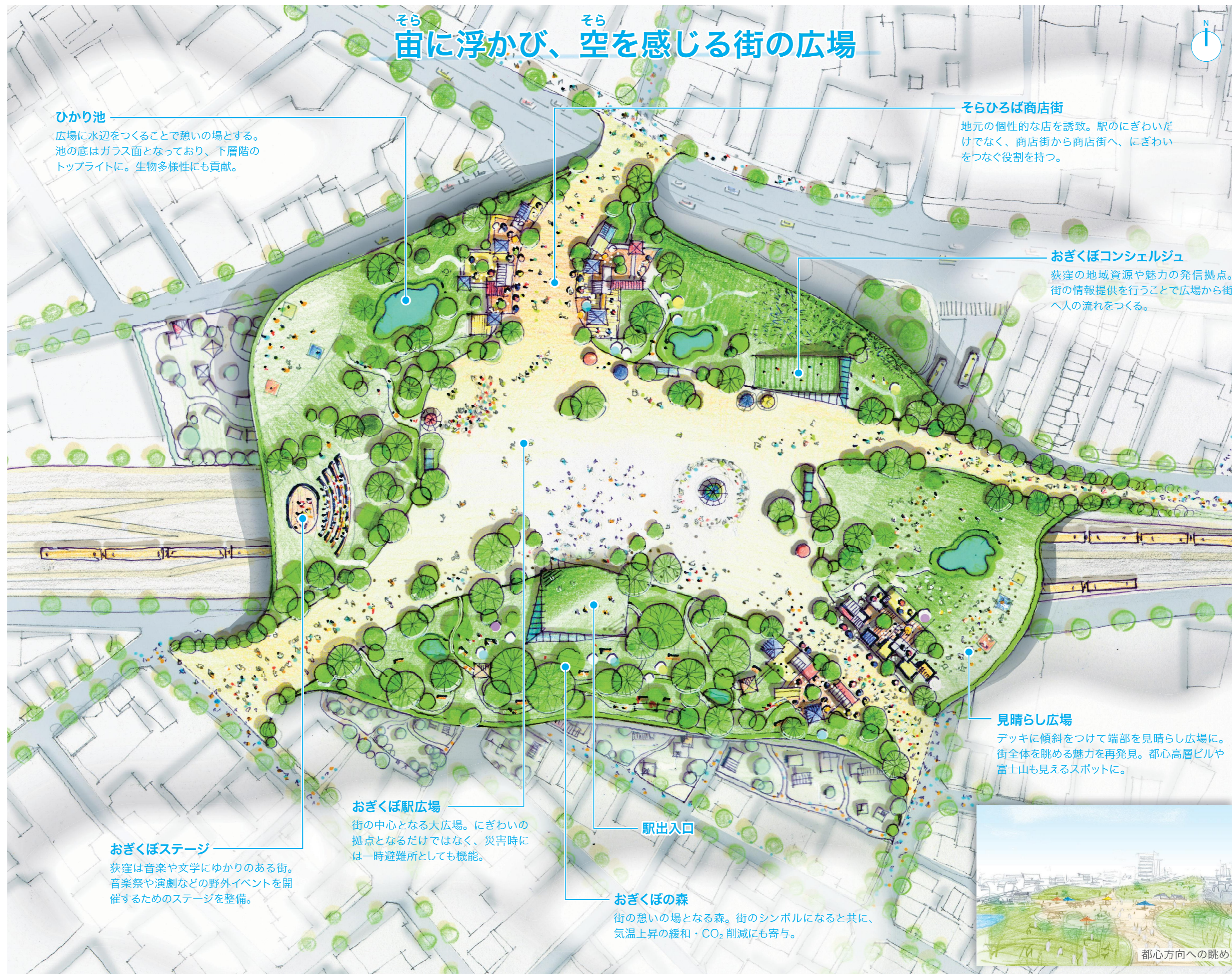
5 荻窪の魅力を凝縮、発信する街

街の個性を顕在化

- 荻窪の魅力「ショーケース」を創る「多様な駅施設」**

おぎくぼの森	武蔵野の住宅地で育てられてきた屋敷林。緑の魅力を森として駅に凝縮、アピールします。
そらひろば商店街	個性的な商店街のある荻窪。駅にも新たな商店街を開き、南北のにぎわいを連続させます。
おぎくぼステージ	文豪に愛された街、荻窪。クラシック、アニメなど、文化魅力を発信します。荻窪発のアーティストがここから世界に羽ばたきます。
おぎくぼコンシェルジュ	街中の魅力のスポットやイベント等を、様々な要望に合わせナビゲートします。
見晴らし広場	そらひろば両端の芝生広場。街全体を眺めることができます。都心部や富士山も見える荻窪一の展望台です。

荻窪そらひろば ~街を廣場で結び、もっと人を呼ぶ街へ~



そら 宙に浮かび、そら 空を感じる街の広場

ひかり池
広場に水迎をつくることで憩いの場とする。池の底はガラス面となっており、下層階のトツプライトに。生物多様性にも貢献。

そらひろば商店街
地元の個性的な店を誘致。駅のにぎわいだけでなく、商店街から商店街へ、にぎわいをつなぐ役割を持つ。

おぎくぼコンシェルジュ
荻窪の地域資源や魅力の発信拠点。街の情報提供を行うことで広場から街への流れをつくる。

見晴らし広場
デッキに傾斜をつけて端部を見晴らし広場に。街全体を眺める魅力を再発見。都心高層ビルや富士山も見えるスポットに。

おぎくぼ駅広場
街の中心となる大広場。にぎわいの拠点となるだけでなく、災害時には一時避難所としても機能。

おぎくぼステージ
荻窪は音楽や文学にゆかりのある街。音楽祭や演劇などの野外イベントを開催するためのステージを整備。

おぎくぼの森
街の憩いの場となる森。街のシンボルになると共に、気温上昇の緩和・CO₂削減にも寄与。

おぎくぼ駅前
駅前広場の拡張と、歩行者専用道の確保。安全な歩行環境を整備。

おぎくぼ駅前
駅前広場の拡張と、歩行者専用道の確保。安全な歩行環境を整備。

おぎくぼ駅前
駅前広場の拡張と、歩行者専用道の確保。安全な歩行環境を整備。

「そらひろば」に詰まった魅力のタネを街へ蒔く

「そらひろば」は、荻窪らしい魅力である「緑」「にぎわい」「文化」「安心」を凝縮した駅。この魅力は、荻窪の街のあちこちにあるものですが、ひとつひとつは隠れたように存在し、希薄化してしまっています。埋もれてしまった街の魅力を顕在化させる仕掛けを街に「タネ」として蒔き、育てることで、「そらひろば」から街全体へ魅力を広がっていきます。

街タネマップ



通りの先にオープンテラスを設置
教会通りから続く通りに、オープンテラスを設置します。教会通りから流れ来る人々が多く立ち寄り、話し合いがたえません。

逃げ道に迷わない標示の設置
袋小路につながるこの場所には、こちらに行くこと「行き止まり」であることを示す標示があり、有事の際に迷いません。

荻窪歴史紹介所の設置
古くから荻窪を見守る神社や、荻窪の歴史を収めた博物館に近接する場所に、小さな歴史紹介所を設置します。

川を近くに感じるデッキの創出
荻窪のシンボルの一つである善福寺川を、近くに感じられるようなデッキを創出します。

庭の緑を結んだ憩いの空間
庭先の緑が遠くまで溢れた街角の脇に小さな緑の空間を創出。静かな空間を創出し、歩行者の憩いの場を創出します。

仮設ステージの登場
緑の多い街中の一角にコンサートスペースを作り、音楽祭やイベントを開催します。

長く居れるベンチの設置
公園や近づくこの場所には、憩いの場を創出するベンチを設置し、心地よいベンチを設置します。

緑のタネ

緑あふれる住環境を育む

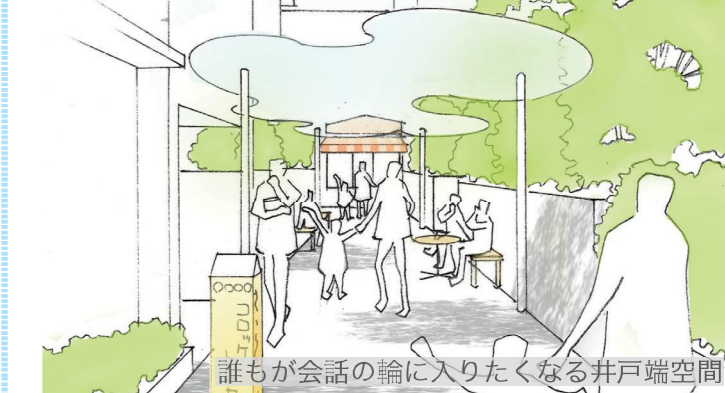
荻窪は公園が少ない街と思われがちですが、屋敷林や庭先の緑がとても豊かな街です。これらの緑は荻窪の良好な住環境を支えています。途切れ途切れに存在する緑を強調し、つなぐスポットをつくることで緑を街に浸透させます。



にぎわいのタネ

個性的な店が集う街へ

荻窪には個性的なお店や商店街が存在します。より親しみを感じ、繰り返し行きたくなる商店街にしたいため、路地や街角に人が集まるスポットを整備することで、集客力を高めめます。



文化のタネ

再び音楽や文学を育くむ街へ

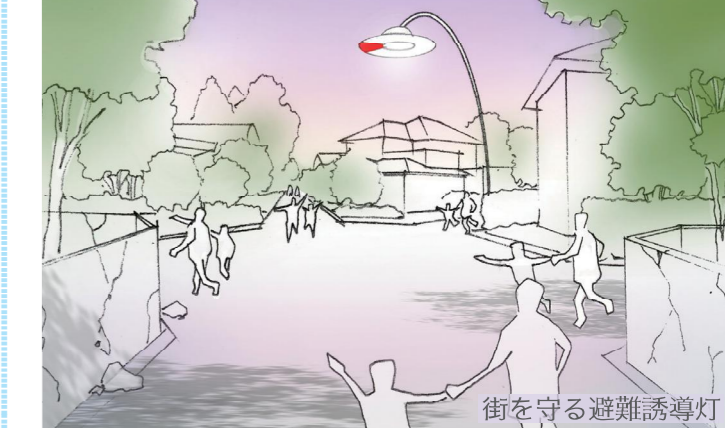
文豪に愛された歴史、荻窪音楽祭やアニメーションフェスティバルなどの文化資源を活かし、育てていくために発信拠点を創ります。



安心のタネ

避難経路を明確にすることで路地の街に安心を

荻窪はヒューマンスケールで魅力的な路地が多く存在します。しかし、狭小な路地は災害時の避難の障害にもなります。路地空間に避難誘導灯を整備することで防災機能を強化します。



実現に向けて

区民参加による、街の魅力の「タネ」創出と育成

「街タネ」発見コンテストの開催
普段何気なく通る道にも荻窪の魅力は溢れています。魅力的な「場所」と「タネ=仕掛け」のコンテストを開催。「そらひろば」で発表会を開き、多くの人が荻窪の魅力をつかち合います。

「おぎくぼ街タネ会」の発足
魅力のタネを育てる組織「おぎくぼ街タネ会」を発足。会には、地元住民、近くの商店街、地元文化人・企業家、学校も参加。コンテストやタネの運営を行います。

事業資金の創出
駅店舗からの賃料収入
1F、2F、駅上に立地する商業店舗や保育施設の賃料を、「おぎくぼ街タネ会」や街中イベントの運営、「そらひろば」の維持に資金として充当します。

周辺公有地の活用
駅周辺に散在する保育所や駐輪場などの公共施設を、駅構内に集約。該当施設跡地は、杉並区が売却又は保有・借地し事業資金に充当します。

